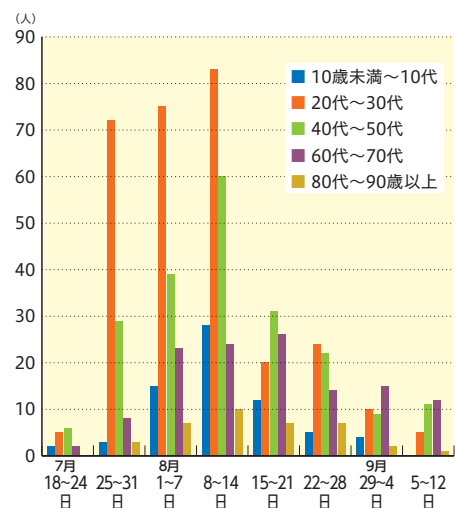


■市内における新型コロナ年代別感染割合



市内感染者を年代別に見ると(左図)、割合が最も多いのが20～30代で、次いで40～50代、60～70代となっています。また、今回は第1波では見られなかった10歳未満の感染者も確認されました。県内では2世代・3世代での同居が珍しくなく、家庭内感染が今回の感染者増加の一因と考えられます。感染拡大防止のためにも、風邪のような症状がある場合には、家庭内でのマスク着用やこまめに手を洗うなどして感染対策に努めましょう。

年代別の感染者割合

新型コロナウイルス第2波とされる7月以降の沖縄県・那覇市の感染状況が下記のグラフです。第1波とされる4月～5月をはるかに上回る感染者が今回の第2波では確認されました。特に8月8日の県内感染者は151人とこれまでで最も多い感染者数を記録しており、そのうち半数以上の82人が市内在住者でした。

市内の新型コロナウイルス感染状況

新型コロナウイルスが蔓延し始めた4月から約半年が経ちましたが、未だ収束の兆しは見えず、7月以降にはこれまでに以上に感染者が確認されています。今後、私たちは新型コロナウイルスとどのように向き合い、乗り越えていけば良いのでしょうか。

備えよう！ 自分と大切な人を守るために

■新型コロナウイルス感染症の状況(7月17日～9月12日)

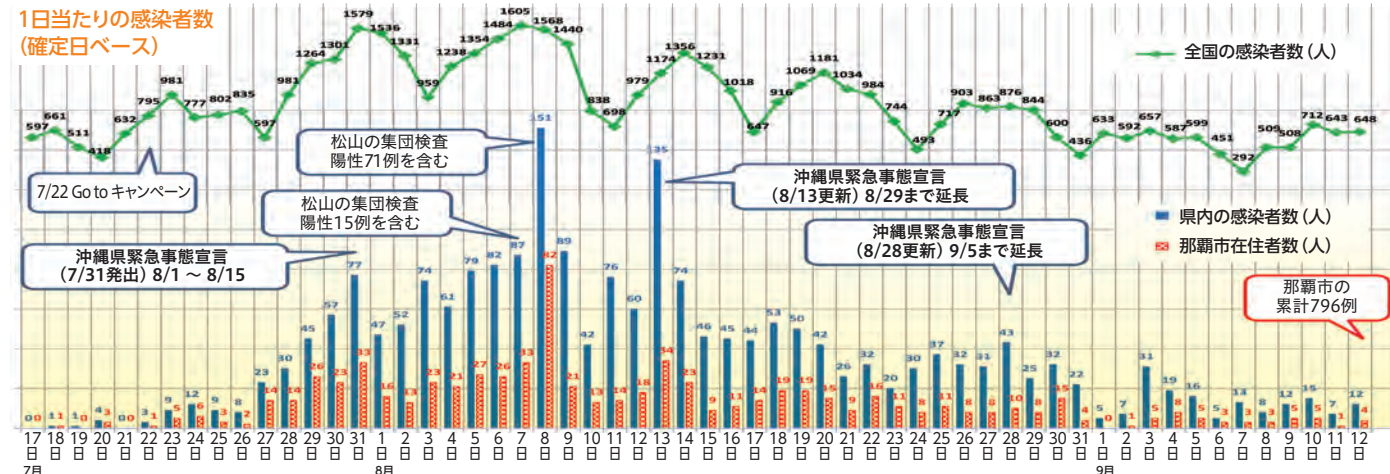


図 那覇市保健所 ☎853・7971

うつらない・うつさない

新型コロナウイルスの感染予防策はインフルエンザ対策と同じで、うつらない、うつさないを心掛けることが重要です。睡眠をしっかりと取り、規則正しい生活を送ることでウイルスにかかりにくい体づくりを心掛けましょう。また、マスクや手指消毒を徹底することで、感染拡大の防止に努めましょう。

市民のみなさまへ

那覇市保健所所長
医師 仲宗根 正

第3波への備え

有効な治療薬やワクチンがない状況下において、新型コロナウイルスの感染拡大を止めるには私たち一人一人の行動が重要です。外出する際は人が少ない時間に、食事はなるべく持ち帰りをする、公共交通機関を利用する際は混んでいる時間を避けるなど、新しい生活様式を日常の中に取り入れ、新型コロナウイルスの感染を食い止めましょう。一つ一つの行動が、自分と大切な人たちを守ります。

ひとり親世帯や、親が感染し子ども一人になった場合の対応

保護者が新型コロナウイルスに感染し、子どもの見守りや養育などについてお困りの際には子育て支援室までご相談ください。療育状況や他に見守りができる親族などはないか、子どもの状態などを聞いた上で、県などの関係機関と連携しながら預かり先の調整を行います。また、保護者が在宅療養で外出できない際には、食料や日用品の提供なども行います。安心して治療に専念できるように、支援を行いますので、お困りの際はご相談ください。

図 子育て支援室 ☎861・5026

集団予防接種等が原因で、B型肝炎ウイルスに持続感染された方に給付金

広告

国との和解が整えば、最大で

3,600万円

※症状により給付金額は異なります

給付金の請求(提訴)期限まで、残り1年半を切りました

2022年1月12日まで!

● 給付の対象となる可能性がある方

- ・ 32歳～79歳の方 ※昭和16年7月2日から昭和63年1月27日生まれの方
- ・ 満7歳の誕生日の前日までに集団予防接種等を受けた方
- ・ 血液検査などでB型肝炎ウイルスへの感染が発覚した方
- ・ 給付対象の相続人の方

★通話料無料(当広告専用ダイヤル) / 朝9時～夜10時まで、土・日・祝も休まず受付中

相談料 何んでも 無料 0円

FREE 0120-338-045

TVでおなじみ! 弁護士140名以上 全国60拠点以上!

弁護士 法人 アディーレ法律事務所

那覇支店(沖縄弁護士会所属):沖縄県那覇市久茂地1-1-1 バレットくもじ4F



※B型肝炎の給付金の詳細やご依頼時の費用は、Webサイトでご確認ください。https://www.adire-bkan.jp/ ※本広告で解説・紹介する一切の内容は、2020年8月時点のものとあり、法律・弁護士費用などは今後変更になる場合がございます。